

令和7年度 ふじみ衛生組合運営方針

事務局長 荻原 正樹
事務局長次長 上野 洋樹

第1 ふじみ衛生組合の運営方針

三鷹市及び調布市（以下「組織市」という。）の行財政を取り巻く環境は、人件費の上昇や資源・資材価格をはじめとした物価上昇等により、当面、厳しい状況が続くことが予想されます。ふじみ衛生組合（以下「組合」という。）では、資源物回収や効率的な発電により、歳入の効果的かつ積極的な確保を図りながら、運営経費の抑制に努め、組織市の健全な財政運営に資するとともに、安全で安定した施設運営に努めつつ、リサイクルセンターの更新事業を計画的に進め、資源循環型社会の形成に向け取り組みます。

クリーンプラザふじみについては、引き続き、環境と安全に徹底的に配慮し、緊急事態への対応も含め適正なごみ処理に取り組みます。

リサイクルセンターについては、日々の不燃ごみ及び資源物を適正に処理し、資源化を推進するとともに、施設の適切な維持管理を行います。また、（仮称）新リサイクルセンター（以下「新施設」という。）の整備については、令和10年度末の新施設竣工に向け、職員体制を強化し、実施設計を進め今年度内の着工を目指します。

組合は、組織市約43万人市民の生活環境を守る立場で、ごみ処理行政を推進するとともに、組織市の環境学習の中心施設として、市民の皆様に愛される施設づくりに努めていきます。

第2 職員数 正規職員17人（うち管理職5人）

第3 予算規模（当初）

一般会計 歳入 66億7,639万円 歳出 66億7,639万円

（歳入内訳）

単位：千円

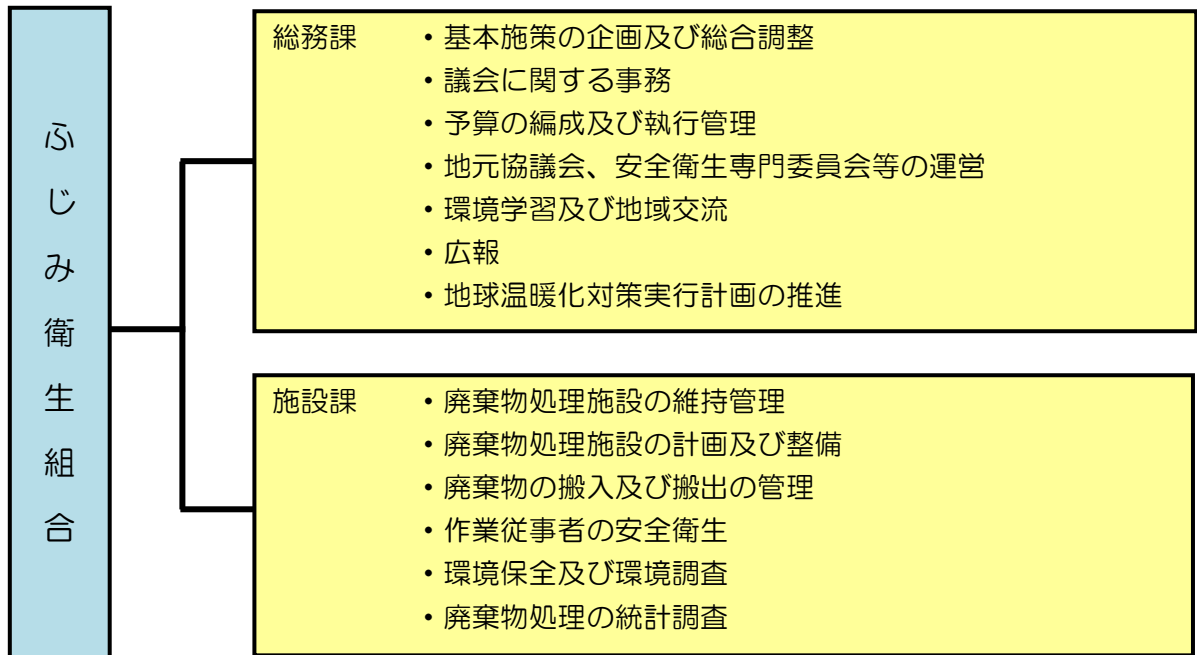
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	構成比
1 分担金及び負担金	1,162,299	1,342,356	△180,057	17.4%
2 使用料及び手数料	455,003	455,002	1	6.8%
3 国庫支出金	1,144,023	1,663	1,142,360	17.1%
4 財産収入	621	502	119	0.0%
5 繰越金	20,000	20,000	0	0.3%
6 諸収入	597,444	635,923	△38,479	9.0%
7 組合債	3,297,000	565,000	2,732,000	49.4%
（繰入金）	0	200,000	△200,000	0.0%
歳入合計	6,676,390	3,220,446	3,455,944	100.0%

（歳出内訳）

単位：千円

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	構成比
1 議会費	6,777	6,656	121	0.1%
2 総務費	141,444	138,989	2,455	2.1%
3 事業費	6,227,525	2,774,125	3,453,400	93.3%
4 公債費	280,644	280,676	△32	4.2%
5 予備費	20,000	20,000	0	0.3%
歳出合計	6,676,390	3,220,446	3,455,944	100.0%

第4 組織体系図



第5 実施方針と個別事業の取組

1 実施方針

『環境にやさしく、安全・安心なごみ処理施設を目指します。』

組合が保有する「クリーンプラザふじみ（可燃物処理・熱回収施設）」及び「リサイクルセンター（不燃物処理・資源化施設）」を計画的に運転し、適切な維持管理を行い、安全で安定したごみ処理に取り組むとともに、作業従事者の安全衛生に取り組むなど、無事故・無災害の施設運営に努めます。

また、地元協議会及び安全衛生専門委員会を定期的開催し、地域住民や専門家の意見を踏まえつつ、環境と安全に徹底的に配慮した運転を行います。

市民の皆様へ、排ガス測定値のリアルタイムでの公表、ダイオキシン類濃度や放射性物質濃度等の各種環境データの定期的な公表を実施するなど情報公開に努め、安全・安心な施設運営への理解を深めていきます。

さらに、事故等の施設稼働緊急時や組合に寄せられる要望等に対しては、処理施設緊急時及び要望等対応マニュアルに基づき、迅速かつ適正に対応し、説明責任を果たし、信頼される組合運営に努めます。

2 個別事業の取組

※予算額の（ ）は内数

(1) 施設運営等について

施設運営全般としては、運営事業者及び委託事業者と連絡調整を密接に図り、環境保全を最優先としつつ、効率的で安定した運転管理を行います。また、運営事業者及び委託事業者と連携して作業従事者の一層の安全衛生に取り組みます。

施設の運営管理状況等については、モニタリング実施要領に基づき、評価及び指導を行い、適切な運転監理を図ります。

第2次ふじみ衛生組合地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス排出量の削減に努め

ます。

災害発生時等においては、廃棄物処理事業継続計画（BCP）及び災害廃棄物処理計画に基づき、適正かつ安定的なごみ処理を図ります。

組合職員が施設管理に必要な資格を計画的に取得するとともに、研修等により知識、技術の向上を図ることで、運営事業者及び委託事業者への持続した監理・指導体制を整えます。

○ごみ処理場管理費 121,988千円

ア クリーンプラザふじみの運営

環境基準値及び自主規制値を遵守するなど、環境や安全に配慮した焼却処理を最優先としつつ、効率的な売電収入の確保に努めるほか、運営事業者の安定した経営を監理します。

ダイオキシン類対策委員会を開催するなど、作業従事者の安全衛生の一層の向上を図ります。

不適正物の混入による施設の稼働停止を防止するため、搬入ごみの検査による水際対策に継続して取り組むほか、水銀制御システムを引き続き活用するなど、ごみの適正処理に取り組みます。

クリーンプラザふじみの熱回収によるエネルギーは、電力や温水として組合で有効活用するとともに、余剰分については売電や周辺公共施設に供給します。

○運営費 803,118千円

（施設運營業務委託料233,881千円、売電収入相当額委託料457,630千円）

イ リサイクルセンターの運営

設備の適切な更新・修繕を実施し、安定的なごみ処理の継続と作業環境の向上を図り、選別した資源物の品質維持に努めます。

また、委託事業者と連携し、搬入量に応じた臨機応変な処理体制を確保し続けるとともに、勤務中の災害やトラブルで負傷者が出た際に、迅速かつ適切な対応ができるように上級救命講習の受講を推進します。

○運営費 538,996千円

（不燃ごみ処理業務委託料406,193千円）

ウ リサイクルセンターの更新

組織市と連携し、更新期間中は、改造後の東棟・北棟において不燃ごみ・資源物を滞りなく処理します。また、昨年度着手した中央棟の解体工事については、今年度上期中に完了させるとともに、その跡地に整備する新施設については、実施設計を進め今年度内の着工を目指します。

○建設費 4,763,423千円

（(仮称)新リサイクルセンター建設工事4,275,000千円、中央棟解体工事277,200千円）

(2) 環境学習の推進について

学校の社会科見学については、組織市の教育委員会と協力し、小中学校の児童・生徒の見学者数の増加を図り、ごみの減量・資源化意識の醸成を促進します。社会科見学で来場する小学生を対象にペットボトルつぶし器を配付することで、各家庭におけるペットボトルの減容化とスーパーなど小売店の店頭回収利用を促進し、リサイクルセンター更新期間中におけるペットボトルリサイクルを推進します。

環境学習推進員と連携し、受付・施設案内、見学内容、施設内掲示、広報等を充実するなど、

環境学習機能の向上を図り、これからの時代を担う子どもたちを中心に、環境学習をさらに推進します。

○環境学習推進費8,171千円

(環境学習チラシ等作成業務委託料2,304千円)

(3) 啓発事業について

組合及び組織市の広報、ホームページ等を活用し、具体的なごみの分別、排出、処理過程などをお知らせし、継続的なごみの適正排出について市民啓発に努めます。

「エントツくん」をモチーフとしたグッズを組合及び組織市の施設で販売し、施設のPR及び市民に親しまれる施設の啓発に努めます。

また、「ふじまつり」においても、地元協議会や組織市の廃棄物所管課等とも協力しながら、ごみの減量・資源化意識等の醸成に寄与する事業を実施します。

(4) 地域交流事業について

地元協議会、地域住民及び関係団体との協働による「ふじまつり」を開催し、地域との交流を図り、親しまれる施設づくりに努めます。

会議室等を地域の町会、団体等に開放し、地域交流の場として施設の活用を推進します。

地域住民や関係団体が交流する事業については、積極的に参加・後援します。

組合敷地内接道部を利用した花壇ボランティアとの協働による「花いっぱいプロジェクト」を継続実施し、花にあふれ地域に愛される施設づくりに取り組みます。

○ふじまつり運営費 3,836千円

(5) 地元協議会等について

・ふじみ衛生組合地元協議会

定期的な会議を開催し、施設の運転状況や環境データ、組合の運営状況などを報告・説明し、安全・安心な施設運営への理解を深めます。また、リサイクルセンターの更新に向けて、環境負荷の低減や安全面等、様々な視点から積極的に意見交換を行います。

・ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会

水銀対策など継続して取り組むべき事項等を検討し、地域住民のさらなる安全を確保します。定期会議は、年1回の開催を予定しています。

○地元協議会・専門委員会等運営費 1,552千円